



DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

- |                   |   |              |   |
|-------------------|---|--------------|---|
| ○良い：15P以上         | ↑ | ○やや良い：6P～14P | ↗ |
| ○変わらない（普通）：△5P～5P | → | ○悪い：△15P以下   | ↓ |
| ○やや悪い：△6P～△14P    | ↘ |              |   |

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

### (1) 製造業 21 <良い>



景況感は前期より「悪い」という声が減り、DI 値は 21P で 9 P 改善しました。売上額の DI 値も 26P で前期比 12P 改善しましたが、収益は 3 P でほぼ横ばいの状態です。

雇用人員は、△31P で 9 P 悪化してしまいました。

売上額の次期 DI 値は 0 P（今期比△26P）と厳しい見方となっています。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・ 上場会社からの受注が多く好況が続いている。
- ・ 客先の設備更新に伴う代替生産を引受けたことから、売上は前期比 80%以上の増加となった。
- ・ 受注件数・金額ともに増加が予想されていることから、パートタイマーの募集を始めている。
- ・ 円安の効果がようやく来たといった感覚である。親会社の意向もあり今後はさらに忙しくなる。
- ・ 自動車と建機関係は設備投資拡大の動きがあり、4月以降の動向にも期待している。
- ・ 同業者間の「採算割れ受注」は最近少なくなって来ている。
- ・ 原材料価格上昇による利幅縮小など課題は多い。

### (2) 建設業 △7 <やや悪い>



景況感は「悪い」が増え、△7P と前期比△15P の悪化となりました。また売上額は△5P、収益は△19P で、ともに悪化しています。

雇用人員も 7 P 改善していますが、△34P と依然人手不足感が続いています。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・ 建設資材の値上げが継続しており、売上を圧迫している。
- ・ 材料費の単価上昇による負担があり、引き続き経費削減に取り組んでいく。
- ・ 業界全体が人手不足の状態にあり、求人募集しても人が集まらない。暫くは公共色の強い受注に特化し利益確保に努める。
- ・ 市内を中心に事業展開してきたが、東京方面での仕事も徐々に拡大させる方針である。
- ・ 直請けの物件も多くなってきたため、契約金・中間金の回収により資金繰りは安定してくると見込んでいる。
- ・ 1月以降は注文住宅及びリフォームの受注も順調に推移しだしている。

(3) 卸・小売業  $\Delta 17$  <悪い>



景況感は「良い」が増え、「悪い」が減ったため 13P の改善となりましたが、依然  $\Delta 17P$  と厳しい状況です。

売上額、収益についても  $\Delta 27P$  と低位横ばいで、依然として良くない状況が続いています。

☆事業者の主な声☆

- ・取引先飲食店の廃業等、販売先の減少や価格上昇による買い控えの影響がある。
- ・前期比では売上が増加したものの、消費税のかけ込み需要があった前年同期比ではマイナスとなっている。
- ・顧客の高齢化が進んでおり、小売業は低迷が続く。一部店舗の昼間の業態変更により、売上減少に歯止めをかけていく。
- ・クリスマス以降、正月・バレンタイン・ホワイトデー・卒入学等、ギフト販売が繁忙であった。
- ・来期以降に向け、インターネットの利用等、販路拡大を目指した準備をしている。

(4) 不動産業 30 <良い>



景況の DI 値は 30P と依然として高い位置にあります。

また、売上高も 30P の高水準で、次期 DI 値は 46P とさらに改善を見込んでいます。

雇用人員では  $\Delta 23P$  と人手不足感が続いています。資金繰りは 8P とプラスになりました。

☆事業者の主な声☆

- ・在庫が不足しているので、採算を見極めながら積極的に仕入れを行う。
- ・在庫物件を計画通りに売却することが出来たため、売上の増加に繋がった。
- ・新築物件の売買が増加傾向にあると感じている。長期間鈍化した物件も次第に動き出してきた。
- ・少数棟現場を中心にほぼ計画通り販売。原価に留意しつつ仕入れを行って行く。
- ・順調に販売できたことから十分な利益が確保できている。ただし、横須賀市内では好物件の出物が少なく仕入れが停滞している。人口減少による将来的な供給過剰も危惧している。

(5) サービス業  $\Delta 15$  <悪い>



景況感は 2P 悪化し、 $\Delta 15P$  となりました。

売上額は 18P 悪化し  $\Delta 15P$ 、収益は 15P 悪化し  $\Delta 13P$  となりました。

雇用人員面は 14P の改善となりましたが、依然  $\Delta 14P$  と人手不足感が継続しています。

☆事業者の主な声☆

- ・燃料費の低下等、プラス要因があったものの、休日の天候不順で売上は伸びなかった。
- ・新規顧客は少しずつ増加傾向にあるが、ガス・電気料金の値上げの影響が続いており利益増加には至っていない。
- ・ここに来て宿泊予約が増えてきているが、1月は前年より若干減少した。集客力の拡大を目指し、ウェブサイト作りを心掛け、最新の旬な情報提供に力をいれている。
- ・ファーストフード業、サービス業の形態が変化しきており、昼からの居酒屋等も出現している。単価を高くしてもやっていけると経営者が思い始めた感がある。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成26年10～12月の景況感（調査時点 平成26年12月1日）  
 今・・・今期 平成27年1～3月の景況感（調査時点 平成27年3月1日）  
 次・・・次期 平成27年4～6月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	197	43	39	56	14	45
今期	191	39	42	51	13	46
次期	190	38	42	51	13	46

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	19	21	17	33	36	26	18	17	12	11	16	12	36	38	38	11	15	15
	変わらず	57	54	58	46	49	50	72	59	74	48	51	53	57	54	47	65	55	59
	悪い(B)	24	25	25	21	15	24	10	24	14	41	33	35	7	8	15	24	30	26
	DI値(A)-(B)	△5	△4	△8	12	21	2	8	△7	△2	△30	△17	△23	29	30	23	△13	△15	△11
	今-前、次-今	1	△4		9	△19		△15	5		13	△6		1	△7		△2	4	
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	27	24	18	33	41	26	26	21	12	18	16	12	43	38	54	27	15	13
	変わらず	46	48	56	48	44	48	53	53	67	37	41	51	50	54	38	49	55	63
	悪化(B)	27	28	26	19	15	26	21	26	21	45	43	37	7	8	8	24	30	24
	DI値(A)-(B)	0	△4	△8	14	26	0	5	△5	△9	△27	△27	△25	36	30	46	3	△15	△11
	今-前、次-今	△4	△4		12	△26		△10	△4		0	2		△6	16		△18	4	
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	19	17	13	26	24	16	13	7	10	13	16	12	29	46	23	22	13	11
	変わらず	53	55	60	50	55	60	69	67	66	37	41	49	64	46	77	58	61	63
	減少(B)	28	28	27	24	21	24	18	26	24	50	43	39	7	8	0	20	26	26
	DI値(A)-(B)	△9	△11	△14	2	3	△8	△5	△19	△14	△37	△27	△27	22	38	23	2	△13	△15
	今-前、次-今	△2	△3		1	△11		△14	5		10	0		16	△15		△15	△2	
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	3	5	4	7	5	3	0	2	2	4	8	6	0	0	0	2	4	4
	適正	71	68	72	64	59	65	59	62	65	83	68	74	79	77	83	68	78	80
	少ない(B)	26	27	24	29	36	32	41	36	33	13	24	20	21	23	17	30	18	16
	DI値(A)-(B)	△23	△22	△20	△22	△31	△29	△41	△34	△31	△9	△16	△14	△21	△23	△17	△28	△14	△12
	今-前、次-今	1	2		△9	2		7	3		△7	2		△2	6		14	2	
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	10	8	5	10	8	5	10	2	2	7	6	4	7	8	8	13	15	7
	さほど苦しくない	64	71	73	66	71	71	64	74	72	54	61	63	86	92	92	71	72	82
	苦しい(B)	26	21	22	24	21	24	26	24	26	39	33	33	7	0	0	16	13	11
	DI値(A)-(B)	△16	△13	△17	△14	△13	△19	△16	△22	△24	△32	△27	△29	0	8	8	△3	2	△4
	今-前、次-今	3	△4		1	△6		△6	△2		5	△2		8	0		5	△6	

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 146社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	52社	35.6%	39.1%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	46社	31.5%	27.2%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	48社	32.9%	33.8%
DI値(A)-(B)		2.7P	5.3P

